



1学期回顧

4月:新入生369名が入学。1100名でスタート。入学早々、集団宿泊研修や体育大会の練習が始まり、毎年のことではあるが、1年生にとってはちょっとハードな4月となる。部活動も新入部員が入部し活気づく。全学年合わせて515名の生徒が運動部活動へ加入した。

5月:体育大会が行われる。今年度もパークドーム熊本を利用し、木曜日開催となった。今年度はいくつかの運動部も大会と重ならず、全員参加の大会となった。マスゲームの他、リレーや応援合戦



も大いに盛り上がり、熊商のパワーを見せつけた。平日にもかかわらず保護者の観戦も多く、関心の高さが感じられた。生徒も、多くのギャラリーの応援を受け、思い出に残る大会となった。また、生徒会を中心とした大会運営もすばらしかった。招集や誘導などで時間がかかると、大会運営に大きなロスとなる。自分たちの役割を綿密な計画で分担し、的確な指示を出し、常に走り回っていた生徒会のメンバーにも拍手を送りたい。大型映像機を使った演出などもあり、例年にも増して華やかであった。

6月:熊本県高等学校総合体育大会が開幕。3年生にとっては集大成の大会となった。ソフトボール部が4年ぶり2度目の優勝を飾り、陸上部女子は2連覇を果たした。陸上部は南九州大会でもその勢いは衰えず、17名のインターハイ出場を決めた。熊商史上最多である。その他、バレーボール部や女子バスケットボール部もベスト4に入り、水泳部等も活躍し、熊商運動部を県内にアピールできた。3年生は力を出し尽くしただろうか。とにかく3年間お疲れ様。新体力テストも実施。昨年まで3年連続体力向上優良校に選出されている。(県内8校)今年度も選出されることを目指し、モチベーションを上げて取り組んでくれた。手を抜くことなく取り組む熊商生の姿勢が、好結果をもたらしているのは間違いない。



7月:夏の高校野球が開幕。第6シードで臨んだ野球部は、大津に7-4で勝利、矢部にも12-0で勝利し、八代高校とベスト8をかけて戦った。暑い中での熱戦であったが、惜しくも1-8で敗退した。今大会はシード校が次々と破れ、まさに戦国時代の様相を呈している。



全国高校総体の監督会議が行われ、総合開会式の旗手に、全競技を代表して、本校陸上部主将の村上静和さんが選ばれた。監督会議の中で、高体連会長より高体連旗を渡され、「この大会を目指して頑張ってきた熊本県下の選手の代表として精いっぱい戦ってきます」と決意を述べた。



いざ！インターハイへ 武運長久を祈る

(戦いにおける良い運が久しく続くこと)

陸上:8月2日～6日 三重県伊勢市

スポーツの森 伊勢 陸上競技場

ソフトボール:8月2日～6日 三重県熊野市

熊野スタジアム他